

【足立敏之議員】インフラ再生なくして日本の再生なし／国政セミナーで決意示す

足立敏之参議院議員の国政セミナーが28日に都内で開かれ、全国から集まった支援者を前に7月の選挙で2回目の当選を果たしたことを報告、支援に感謝するとともに、2期目に当たった決意を表明した。足立議員は1期目では「建設産業の再生なくして、日本の再生なし」を打ち出し、建設投資の量と質の確保を図り、建設業を新3K（給与、休暇、希望）の産業にしていくために全力を尽くしたとしながら「これは引き続きやらなければならない」と説明。今後は「インフラの再生なくして、日本の再生なし」を併せて唱える考えを明らかにした。



2期目の意気込みを語る足立議員

足立議員は「諸外国と比較して日本のインフラはこのままではいけないと思っている。日本のインフラの整備水準を何とか諸外国並みに引き上げていきたい。高速道路も港湾も空港もアジア諸国と比べると目を覆うばかりの状態になっている。これだけ災害の多い国は世界を見回しても他にない。そういうことからすると、日本の脆弱で貧弱なインフラを立て直すことが日本の経済の発展につながる。日本が成長するためにはインフラがしっかりしていなければならないことを、これからも国会で訴え、政策にしていきたい」と強調した。

当日は、来賓として林芳正外務大臣、谷公一国会公安委員長・防災担当・国土強靱化担当大臣、自民党の遠藤利明総務会長、業界団体関係者らが駆け付け、さらなる活躍に期待する声が相次いだ。

また、岸田文雄首相がビデオメッセージを寄せ、10月末に決定した総合経済対策で燃料油価格の高騰対策、インフラの戦略的・計画的整備や都市再生等の地域活性化策、防災・減災、国土強靱化の一層の推進など国民生活を一層守るための対策を盛り込んだことを紹介し「いずれも待ったなしの課題への対策であり、一日も早く補正予算を成立させて取り組みを前に進めなければならない」とした。さらに、足立議員が活動方針に掲げる「安全・安心な国土づくり、生産性の高い住みよい国土の整備」などに向けて尽力する建設産業関係者等に対し「この国を良くするために、共に取り組んでいこうではありませんか」と呼び掛けた。

セミナーでは、読売新聞特別編集委員の橋本五郎氏が「どうなる日本!」と題した基調講演を行った。